

「いしかわ業界マップ2020」の作成と公開

団体名 ● 奥村ゼミナール / 代表者名 ● 奥村実樹 (経済学部准教授)

はじめに

「いしかわ業界マップ」とは、大学生がゼミナールにて作成した石川県に本社を置く企業をその主力事業ごとにまとめた教材資料である。2015年から制作を開始し、その後、業界・企業数を増やしながら継続的にまとめ上げ、冊子化や、大学ホームページでのアップなどにて公開をしてきた。なお、本プロジェクトは今年度から新しく始まった「2019年度公益社団法人大学コンソーシアム石川 地域課題研究ゼミナール支援事業」に採択されている。

活動内容

<2年生>

これまでの12業種200社以上の数字部分を中心に更新し、その点を含み各企業に修正希望がないか問い合わせる役割の2年ゼミ生は、前期に石川県の各業界について学習した後、主に9月からの後期授業にて、その問い合わせ、修正活動に取り組んだ。



2年ゼミの授業風景

<3年生>

新規業界を追加する役割の3年ゼミ生は、グループワークを中心に、追加する業界についての学習とその企業の選択について進めた。その学習内容の確認のために、12月2日に、IT/電子業界からアイ・オー・データ機器、サービス業界からフラワーガーデンの社員、連携地域団体となる石川県商工労働部職員による、『いしかわ業界マップ掲載企業との交流会』を実施した。



3年ゼミの授業風景



『いしかわ業界マップ掲載企業との交流会』

成果、結果の考察

参加した学生の意見からは、「知らなかった石川県の企業の魅力を改めて知ることができた」というものが多かった。例えば、業界マップの作成や修正を通して、業界ごとに企業の類似点や違いを比較しまとめる必要があったが、比較するためにその企業を調べる際、創業者や経営者の会社に対する強い思いでもある「企業理念」が各社に存在することなど、今までは着目しなかった点を見るようになったという感想があった。また、一社一社のホームページとも時間をかけてその企業について知ってもらおうという意気込みが伝わってきたという感想もあった。

今後の課題、展望

メールや電話での問い合わせの際のビジネスマナーなど、通常授業で不足している学習内容を盛り込む必要性を感じた。